

“当てはめるだけ”で英語が話せる!

# トイグル式

## スロット文型

# トレーニング

I eat vegetables every day.

It sounds great.



- ✎ 英語を話すには**"公式"**が必要だった!
  - ✎ たった**7日間**で英語をアウトプット!
  - ✎ 自由意志で英語を組み立てられる
- ## 独習プログラム



トイグルEnglish代表  
田邊電彦

## ～はじめに～

『**トイグル式 スロット文型トレーニング**』をダウンロードいただき、誠にありがとうございます！

トイグルEnglish代表の田邊竜彦（たなべたつひこ）と申します。

この電子書籍は、「**スロット文型**」というまったく新しい方法にて、英語を書いたり、話したりする方法を学ぶものです。

スロット文型とは何か、簡単に説明しましょう！

例えば、「私は新しいパソコンを買った」を英文にする際、そこには必ず、主語と動詞が必要です。

主語は「私 (I)」、動詞は「買った (bought / buyの過去形)」が相当するでしょう。

英語の場合、buy は目的語が必要なので、「新しいパソコン (a new computer)」も使う必要があります。

そうすると、**I bought a new computer.**  
**(私は新しいパソコンを買った)** という文  
ができあがります。

この時、主語、動詞、目的語という「ス  
ロット」に、適した単語を入れてみると考  
えると、どうでしょうか？ 次の図のよう  
に、英文をスッキリ整理できます。

主語	動詞	目的語
I	bought	a new computer
私は	買った	新しいパソコンを

英文の構造を整理できると、英語と日本語における、語順の違いがわかります。英語は「主語-動詞-目的語」のようなSVO型なのに対し、日本語は「主語-目的語-動詞」のような、SOV型を主とします。

また、日本語では主語を省略することが多くありますが、英語は通例、主語を省略しません。

このことも、先ほどの図のように英文を整理すると、とても良くわかるようになります。

他にも、英語では「**SがCデアル**」をあらわす形や、「**SがO1にO2をVスル**」といった形まであります。

本書は、こうした様々な文型を、日常生活で使うものに特化し、わかりやすい説明で練習していくものです。

英語で会話する必要がある時、「**この話を伝えるには、スロット文型で言う\*\*系を使おう！**」のようにイメージできるようになれば、英語の発信力が、格段に上がったと実感できるでしょう。

**7日間の特別トレーニングには、説明のほか、練習問題が用意されています。解答もあるので、すぐに答えを確認できます。**

スマートフォンでも見やすいよう、文字サイズは大きめに作っています。ぜひ、お時間のある時、取り組んでみてください。

トイグルEnglish

田邊竜彦

(本書は知識の伝達を目的に作られたものです。成果を保証するものではありません。

本書の一部、またはすべてを無断で転載することを禁じます。)

Day1

「...デアル系」を  
使えるようにしよう!



...デアル系の公式1

S am/is/are C.

...デアル系とは「SはCである」と言う場合に使う文型です。Sは主語、Cは形容詞または名詞です。動詞はbe動詞(am/is/areに変化)が使われます。

...デアル系を使った例を見てみましょう！

Susan **is** a nurse. (スーザンは看護師です)

Bob **is** happy. (ボブは幸せです)

1つ目の例文では、「スーザンは看護師です (...デアル)」と述べられています。文法的には、be動詞に名詞が続いているパターンですね。

2つ目の例文では、「ボブは幸せです (...デアル)」と述べられています。文法的には、be動詞に形容詞が続いているパターンですね。

このように、「...デアル系」はbe動詞が使われることが多くあります。be動詞を中心として、SとCを入れ替えれば、英文が作れるわけです。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	補語	その他
Susan	is	a nurse	-
Bob	is	happy	-

- 「...デアル系」の場合、動詞の後に来る要素を補語と言います。補語には名詞や形容詞が入ります。
- 「...デアル系」では、主語と補語の関係が、概ね「= (イコール)」になります。例文であれば、Susan = a nurse, あるいは Bob = happy と言えるでしょう。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

Smith is \_\_\_\_.  
(スミスはパイロットです)

Mary is \_\_\_\_.  
(メアリーは私の姉です)

Today is \_\_\_\_.  
(今日は火曜日です)

The party was \_\_\_\_.  
(パーティーは素晴らしかった)

Tuesday, great, a pilot, my sister

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させ  
ましょう。

I \_\_\_ very \_\_\_\_.  
(私はとても疲れています)

This book \_\_\_\_ \_\_\_\_ \_\_\_\_.  
(この本は10ドルです)

Her \_\_\_ is \_\_\_\_.  
(彼女の話は面白い)

John \_\_\_ a \_\_\_ of \_\_\_\_.  
(ジョンは私の友人です)

# 正解はこちら！

Q1.

Smith is **a pilot**. (スミスはパイロットです)

Mary is **my sister**. (メアリーは私の姉です)

Today is **Tuesday**. (今日は火曜日です)

The party was **great**. (パーティーは素晴らしかった)

Q2.

I **am** very **tired**. (私はとても疲れています)

This book **is ten dollars**. (この本は10ドルです)

Her **story** is **interesting**. (彼女の話は面白い)

John **is a friend of mine**. (ジョンは私の友人です)

# Day2

「...デアル系」をもっと  
使えるようにしよう!



## ...デアル系の公式2

S become/look/sound C.

Day2は「...デアル系」の応用編です。

実は、この形はbe動詞以外で使用できません。

例を見てみましょう。

Mary **became** a nurse.

(メアリーは看護師になった)

They **look** good.

(良さそうに見えます)

It **sounds** great.

(それは良さそうだね)

become は「...になる」の意味があります。「...デアル状態になる」と覚えると良いでしょう。

look は「...に見える」の意味があります。「...に見える状態デアル」と覚えると良いでしょう。

sound は「...に聞こえる」の意味があります。「...に聞こえる状態デアル」と覚えると良いでしょう。

これらは日常会話でもよく使うので、知っておくことで、表現の幅が広がりますよ。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	補語	追加情報
Mary	became	a nurse	-
They	look	good	-
It	sounds	great	-

- beは「...である」と「...になる」の両方の意味があります。一方、becomeは「...になる」の意味で使われます。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

Bob became \_\_\_\_.  
(ボブは教師になった)

She looks \_\_\_\_.  
(彼女は悲しそうです)

That sounds \_\_\_\_.  
(面白そうですね)

interesting, sad, a teacher

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させ  
ましょう。

Adrian \_\_\_ busy.

(エイドリアンは忙しそうです)

He \_\_\_ an \_\_\_.

(彼は俳優になった)

That \_\_\_ \_\_\_ exciting.

(それはすごくおもしろそうですね)

# 正解はこちら！

Q1.

Bob **became** a teacher.

(ボブは教師になった)

She **looks** sad.

(彼女は悲しそうです)

That **sounds** interesting.

(面白そうですね)

Q2.

Adrian **looks** busy.

(エイドリアンは忙しそうです)

He **became** an actor.

(彼は俳優になった)

That **sounds** really exciting.

(それはすごくおもしろそうですね)

Day3

「...スル系」を  
使えるようにしよう！



# ...スル系の公式1

## SVO

...スル系は「SがOする」という場合に使う文型です。一般動詞が使われます。

...スル系を使った例を見てみましょう。

**I drink coffee.**

(私はコーヒーを飲みます)

**The cat eats fish.**

(猫は魚を食べます)

**She ate an apple.**

(彼女はリンゴを食べました)

1つ目の例文では、「私はコーヒーを飲みます」と述べています。XがI（私）、Yがcoffee（コーヒー）に相当します。時制は現在形が使われています。

2つ目の例文では、「猫は魚を食べます」と述べています。主語が三人称単数、かつ時制が現在形の場合、動詞の語尾には -s/-es をつけます。

3つ目の例文では、「彼女はりんごを食べました」と述べています。時制は過去形が使われています。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	目的語	追加情報
I	drink	a coffee	-
The cat	eats	fish	-
She	ate	an apple	-

・ Oは目的語と呼ばれます。目的語には主に名詞が使われます。

・ 「...デアル系」は「=」でつながられますが、「...スル系」はそれができません。例えば、I drink coffee. といった時、「I ≠ coffee」のため、この文は「...デアル系」ではなく、「...スル系」と判断されます。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

We \_\_\_ English.  
(我々は英語を勉強します)

He \_\_\_ a book.  
(彼は本を読みました)

They \_\_\_ a new car.  
(彼らは新しい車を買いました)

We \_\_\_ a movie last night.  
(昨夜、私たちは映画を観ました)

bought, study, watched, read

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させ  
ましょう。

They \_\_\_ soccer.

(彼らはサッカーをプレイします)

She \_\_\_ a song.

(彼女は歌います)

He \_\_\_ dinner for his \_\_\_.

(彼は家族のために夕食を作りました)

I \_\_\_ a letter to my \_\_\_.

(私は祖母に手紙を書きました)

# 正解はこちら！

Q1.

We **study** English.

(我々は英語を勉強します)

He **read** a book.

(彼は本を読みました)

They **bought** a new car.

(彼らは新しい車を買いました)

We **watched** a movie last night.

(昨夜、私たちは映画を観ました)

Q2.

They **play** soccer.

(彼らはサッカーをプレイします)

She **sings** a song.

(彼女は歌います)

He **cooked** dinner for his family.

(彼は家族のために夕食を作りました)

I **wrote** a letter to my grandmother.

(私は祖母に手紙を書きました)

# Day4

「...スル系」をもっと  
使えるようにしよう！



## ...スル系の公式2

### SVOO

Day4は「...スル系」の応用編です。この形は、give (...を与える) やbuy (...を買う) など、特定の動詞において、O (目的語) を2つ取ります。そして、「SがO1にO2をVスル」の意味になります。

例を見てみましょう。

**I gave** him a book.  
(私は彼に本を与えた)

**She bought** her friend a gift.  
(彼女は友人に贈り物を買った)

1つ目の例文では、話し手が彼に対して、本を与えたと述べています。1つ目のOが him、2つ目のOが a book です。

2つ目の例文では、彼女が友人に対して、贈り物を買ったと述べています。1つ目のOが her friend、2つ目のOが a gift です。

こうした表現を自然に使えらると、表現力がグッと上がりますよ。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	目的語	目的語	追加情報
I	gave	him	a book	-
She	bought	her friend	a gift	-

・この文型において、1つ目のOを間接目的語、2つ目のOを直接目的語と言います。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

My parents \_\_\_ me a new phone.  
(親が私に新しい電話機を与えてくれた)

I \_\_\_ him a ticket.  
(私は彼にチケットを買ってあげた)

We \_\_\_ the students extra help.  
(我々は生徒たちに特別な支援を提供した)

The teacher \_\_\_ the class a project.  
(教師はクラスにプロジェクトを割り当てた)

assigned, offered, bought, gave

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させ  
ましょう。

He \_\_\_ his sister a necklace.

(彼は姉にネックレスを与えた)

I \_\_\_ them some snacks.

(私は彼らに軽食を買ってあげた)

He \_\_\_ his mother a photo.

(彼は母親に写真を見せた)

She \_\_\_ us a delicious \_\_\_.

(彼女は私達に美味しいご飯を料理してくれた)

# 正解はこちら！

Q1.

My parents **gave** me a new phone.

(親が私に新しい電話機を与えてくれた)

I **bought** him a ticket.

(私は彼にチケットを買ってあげた)

We **offered** the students extra help.

(我々は生徒たちに特別な支援を提供した)

The teacher **assigned** the class a project.

(教師はクラスにプロジェクトを割り当てた)

Q2.

He **gave** his sister a necklace.

(彼は姉にネックレスを与えた)

I **brought** them some snacks.

(私は彼らに軽食を買ってあげた)

He **showed** his mother a photo.

(彼は母親に写真を見せた)

She **cooked** us a delicious meal.

(彼女は私達に美味しいご飯を料理してくれた)

# Day5

「...サセル系」を  
使えるようにしよう！



## ...サセル系の公式1

S make/let O ...

...サセル系は「SがOに...をさせる」と言う場合に使う文型です。動詞は make、または let が使われます。

...サセル系を使った例を見てみましょう。

**I made** my sister clean her room.

(私は姉に自分の部屋を掃除させました)

My parents **let** me stay out late last night.

(昨夜、両親は私を遅くまで外出させてくれました)

1つ目の例文では、「話し手が姉に部屋を掃除させた」と述べています。make は「強制的に...させる」のニュアンスがあります。有無を言わさずやらせた、といった感じでしょう。

2つ目の例文では、「親が私を遅くまで外出させてくれた」と述べています。let は「したいように...させる」のニュアンスがあります。許してくれたと言ってもいいでしょう。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	目的語	追加情報
I	made	my sister	clean her room
My parents	let	me	stay out late last night

・使役動詞は他にも、have や get があります。haveは「<業者・専門家などに> ...をしてもらう」、getは「(困難なことなどを) <人に> ...させる」の意味があります。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

They made me \_\_\_ for hours.

(彼らは私に何時間も待たせました)

She let her sister \_\_\_ her computer.

(彼女は妹に自分のコンピュータを使わせてくれました)

The teacher made us \_\_\_ hard for the exam.

(先生は私たちに試験のために一生懸命勉強させました)

The manager let the employees \_\_\_ early on Friday.

(マネージャーは金曜日に従業員たちに早退させました)

use, leave, wait, study

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させましょう。

He made his children \_\_\_\_\_ their homework.  
(彼は子どもたちに宿題をさせました)

I let him \_\_\_ my car.  
(私は彼に車を貸してあげました)

She made her dog \_\_\_\_\_.  
(彼女は犬にお座りさせた)

We let them \_\_\_ at our house for the weekend.  
(我々は彼らを週末、家に泊めてあげました)

# 正解はこちら！

Q1.

They made me **wait** for hours.

(彼らは私に何時間も待たせました)

She let her sister **use** her computer.

(彼女は妹に自分のコンピュータを使わせてくれました)

The teacher made us **study** hard for the exam.

(先生は私たちに試験のために一生懸命勉強させました)

The manager let the employees **leave** early on Friday.

(マネージャーは金曜日に従業員たちに早退させました)

Q2.

He made his children **do** their homework.

(彼は子どもたちに宿題をさせました)

I let him **borrow** my car.

(私は彼に車を貸してあげました)

She made her dog **sit**.

(彼女は犬にお座りさせた)

We let them **stay** at our house for the weekend.

(我々は彼らを週末、家に泊めてあげました)

# Day6

## 追加情報を

## 使えるようにしよう！



追加情報とは、スロットに当てはまる文型に対して、別の情報を加える要素です。

追加情報はスロット外の位置に入り、代表的なものに副詞があります。

例を見てみましょう。

The teacher **explained** the concept clearly.  
(先生はコンセプトを明確に説明してくれました)

**I always start** my day with a cup of coffee.  
(私はいつも毎日をコーヒーで始めます)

1つ目の例文は、「先生はコンセプトを明確に説明してくれた」と述べています。文自体は「...スル系」ですが、clearly（はっきりと）という追加情報が入っています。

2つ目の例文は、「私はいつも毎日をコーヒーで始めます」と述べています。こちらも「...スル系」ですが、always（いつも）という追加情報が入っています。

構造をスロットであらわすと、次のようになります。

主語	動詞	目的語	追加情報
The teacher	explained	the concept	clearly
I	always start	my day	with a cup of coffee

・副詞は文頭、文中、文末など、様々な位置に入ります。

# 練習問題にチャレンジ！

Q1. 日本語訳と語注を手がかりに、空白に適した語を入れて文を完成させましょう。

We \_\_\_ examined the evidence.

(私たちは証拠を慎重に検討しました)

\_\_\_, I enjoy taking long walks.

(時には、長い散歩を楽しむこともあります)

She \_\_\_ finished her homework.

(彼女はすぐに宿題を終わらせました)

\_\_\_, they had to say goodbye to their pet.

(悲しいことに、ペットにさよならを言わなければなりませんでした)

quickly, carefully, sadly, sometimes

Q2. 日本語訳を手がかりに、文を完成させ  
ましょう。

I \_\_\_ eat fast food.

(ファストフードは滅多に食べません)

I \_\_\_ go jogging in the morning.

(朝はしばしばジョギングに行きます)

She \_\_\_ opened the door.

(彼女はゆっくりドアを開けた)

He \_\_\_ played the drums.

(彼は騒々しくドラムを演奏した)

# 正解はこちら！

Q1.

We **carefully** examined the evidence.

(私たちは証拠を慎重に検討しました)

**Sometimes**, I enjoy taking long walks.

(時には、長い散歩を楽しむこともあります)

She **quickly** finished her homework.

(彼女はすぐに宿題を終わらせました)

**Sadly**, they had to say goodbye to their pet.

(悲しいことに、ペットにさよならを言わなければなりませんでした)

Q2.

I **rarely** eat fast food.

(ファストフードは滅多に食べません)

I **often** go jogging in the morning.

(朝はしばしばジョギングに行きます)

She **slowly** opened the door.

(彼女はゆっくりドアを開けた)

He **loudly** played the drums.

(彼は騒々しくドラムを演奏した)

# Day7

自由英作文に  
チャレンジしてみよう！



ここまで、スロット文型について学んできました。内容をまとめると、次のようになります。

...デアル系1: S am/is/are C

...デアル系2: S become/look/sound C

...スル系1: SVO

...スル系2: SVOO

...サセル系: S make/let O ...

また、スロット文型の情報を補足する要素として、追加情報の概念も学んできました。

これらの文型を組み合わせることで、身の回りのことを表現できるようになるでしょう。

それでは、最終レッスンとして、これら文型の知識を組み合わせて、自由英作文に挑戦してみましよう！

手順は次のようになります。

手順1: まずは日本語にて、伝えたいメッセージをできる限り短い文にしてみました。

手順2: その日本語の文が、「...デアル系」、「...スル系」、「...サセル系」のどれが適しているか判断しましょう。

手順3: 使用するスロット文型を決めたら、まずは主語を設置しましょう。

手順4: 続いて、動詞を設置します。

手順5: 最後に、目的語（あるいは補語）、そして必要に応じて追加情報を加えて、文を完成させましょう！

例:

手順1: 「お腹が空いたなあ」のメッセージを言いたいとします

手順2: 「私はお腹が空いています (= 空いた状態である)」なので、「...デアル系」と判断!

手順3: 主語 I を設置

手順4: 動詞 am を設置

手順5: 補語 hungry (空腹の) を設置

→ I am hungry. (私はお腹が空いています) で文が完成!

## <英文を作る際のポイント>

- ・日本語のメッセージはできるだけ、シンプルで短いものにしましょう。長いメッセージは分割すると英文を作りやすくなります。

- ・日本語のメッセージにて、使用する語彙はできるだけ、簡単なものにしましょう。子供にも伝わるレベルが目安です。例えば、「糖質制限ダイエット中です」は「ダイエット中です」と言えるでしょう。

## <継続は力なり>

- ・やり方がわかれば、後は継続が何より重要です。日常の気になったことをどんどん、英文にしてみましよう！ きっと、英語を組み立てる感覚がつかめるはずですよ